



佐賀大学教職大学院 院生ライフレポート



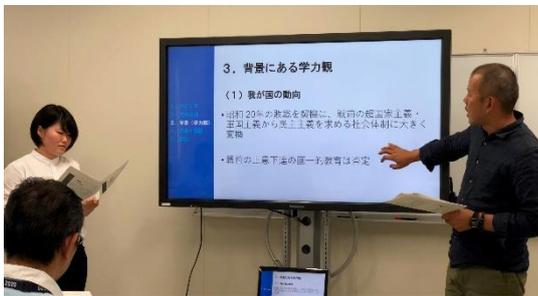
主体的で協働的な学びの実践

大学院での講義の多くは、院生の発表やグループワークを取り入れた構成となっています。講義での発表準備のために、まず、図書館や論文検索サイトなどを使って参考文献や資料を探し、先行研究を読み、発表の内容を考えます。次に、作成した発表原稿をもとに講義担当の教官に指導をいただき、指導を受けた部分を修正するために、更に資料を読み込み、発表内容を固めていきます。そして、発表内容が整理できたら、プレゼンテーションソフトを使い発表の構成を考えていきます。



多くの講義は、現職教員とストマスがペアになって課題に取り組みます。そのため、現職教員の教職経験で得た知識とストマスの新鮮な意見をぶつけ合いながら、互いに高め合

う日々を過ごしています。教育学の理論などは、ストマスの方が詳しいこともあります。現職教員は、20年(?)ぶりの大学の講義や課題に苦戦しながらも、先行研究を調べることで最新の理論やより専門性の高い知識に触れることができ、刺激的な毎日を過ごしています。



佐賀の偉人達に会ってきました！！

現在、佐賀市を中心に開催されている「肥前さが幕末維新博覧会」にストマスで行ってきました。幕末に活躍した佐賀の偉人たちがどのように優れていたのかについて学んできました。



迫力満点！現代技術と歴史のコラボレーション！！大満足です！



体験コーナーもありとても楽しかったです。これから佐賀の教員になっていくストマスにとっては、とても有意義な時間になりました。“佐賀の偉人達に負けない”という気持ちで、佐賀の子どもたちのためにスキルアップしていきたいと思います。